

九州運輸局メールマガジン

平成22年10月7日 第100号（発行日：毎週木曜日）

～九州の明日を拓く運輸と観光～

九州運輸局HPアドレス <http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。

目次

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報（9月30日～10月6日掲載分）
 - 各種情報
 - 各種手続き
 - 分野別情報
 - 報道発表
 - お知らせ
 - おすすめ情報
- 2 現場レポート
- 3 地域情報ファイル「あの街、この街」

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報（9月30日～10月6日掲載分）

各種情報

《入札・契約情報》

- ・企画競争実施公示（10/4付け、10/5付け各1件）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

- ・企画競争実施結果の公表（10/1付け）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/kikaku_kekka/101005.pdf

- ・入札監視委員会

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/nyusatsukanshi/kanshi_10.pdf

《九州統計情報》

- ・九州運輸局管内事業用自動車事故統計を 21 年版に更新

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_koutuu/pdf/jigyoyoujiko21.pdf

各種手続き

《海技試験制度・合格発表》

- ・海技免除等の国家試験合格発表、合格発表日更新

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm>

分野別情報

《公共交通活性化》

- ・地域公共交通活性化・再生シンポジウム in 九州（平成 22 年 9 月 17 日開催）

～もっと知ろう、知恵と工夫で地域にふさわしい公共交通を～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file15.htm>

《物流》

- ・新規倉庫業登録一覧（毎月）」の更新（9 月末現在）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/souko/2209.pdf

- ・「認定トランクルーム一覧」の更新

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/koutuu/file03/file03_023.pdf

《バリアフリー》

- ・交通バリアフリー通信第 2 号

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/koutuu/file10/kbftuusin_02.pdf

《バス・タクシー・トラック》

- ・バスの申請公示状況

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/bus/k_101001.pdf

- ・タクシーの申請公示状況

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/taxi/K_221001.pdf

報道発表

- ・阿蘇音楽大陸「音旅」の開催

～観光圏における滞在力向上に向けた取組み～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0930-kankou.pdf>

- ・人事異動国土交通省九州運輸局（平成22年10月1日付け）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-1001-jinji2.pdf>

- ・「省エネ促進フォーラム2010 in 鳥栖」の開催について

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-1001-kankyou_buturyu.pdf

- ・第3回トラック輸送適正取引推進パートナーシップ九州ブロック会議の開催について

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-1004-j_kamotsu.pdf

お知らせ

- ・「電気自動車への改造（EVコンバージョン）に当たっての留意点のお知らせ

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2010-1001-gijutsu.pdf>

- ・平成22年度第2回自動車運送事業者自動車無事故表彰の公示について

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2010-1001-hoankankyou.pdf>

おすすめ情報

《交通環境・物流・バリアフリー関係》

- ・九州グリーン物流パートナーシップ推進協議会メールマガジン

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kyusyuu_green/

2 現場レポート

「サイロ倉庫&造船所見学会」を実施！！

佐世保海事事務所では、9月14日（火）、佐世保市内のサイロ倉庫及び造船所に同市立金比良小学校の5年生31名と校長先生や担任の先生2名を招待して、「倉庫&造船所見学会」を実施しました。

この見学会は、郷土の基幹産業である造船業を身近に感じてもらうとともに、長崎県内唯一の輸入穀物サイロを見学することを通じて、海事産業への感心を深めてもらうことを目的に（社）九州海事広報協会等の協賛も得て毎年実施しているも

のです。なお、今年は造船所での命名式にも参列することが出来ました。

まず、佐世保港前畑岸壁において、「サイロ倉庫」を前に倉庫会社の担当者からその構造や役割などの説明がありました。生徒たちはメモを取りながら熱心に説明を聞くとともに、同社から資料を事前に配付していたこともあって、「どのよにして船からサイロに積み替えるのですか?」、「どれくらいサイロに保管されるのですか?」など次々に質問を投げかけていました。当日は、サイロに貯蔵されている「小麦」や「とうもろこし」を実際に触れたり、高さ40m近いサイロや荷役機械を見上げて、子供たちからは「すごーい」、「高い!」などの歓声が次々に上がっていました。

また、同社からは、お米を保管している定温倉庫も見学機会を用意していただき、「この倉庫の一角だけで佐世保市民1ヶ月分の主食が賄える」との説明に、引率の先生も含め大きな反応があったのが印象的でした。

次に造船所での命名式に参列しました。9月に入ったものの、汗ばむような陽気の中、子供たちには少々酷な状況ではありましたが、総トン数40,325トンの<バラ積運搬船>を目の前にし、子供たちの目は釘付けでした。命名式が始まると、担当者から「あっちを見て、旗が揚がるから」や「今からシャンパンが割れるよ」など細かな説明があったため、貴重な瞬間を見逃すことなく見学できました。もちろん、当該船舶を背景に記念撮影を行い、子供たちにとっては貴重な体験になったと思います。

その後、バスにて造船所構内の見学を行いました。大きなブロックや山積みになされた鉄板の多さ、また、ドッグや建造船舶の大きさに圧倒され、目をキョロキョロさせたり、皆、興味深々な様子でした。「造船所にはクレーンは何基あるのですか?」、「船はどのくらいの期間で完成するのですか」などの質問が途切れることがなく、あえなく時間切れとなってしまいましたが、子供たちからは「このような職場で働きたい!」などの声も聞かれ、海事思想の普及と次世代人材育成に繋がるよい行事となり、大変ホッとしたところです。

当事務所としては、今後も海事思想の普及や次世代人材確保の育成に向け取り組んでいきたいと思っております。

当日の見学会の様子は、以下のURLからご覧になれます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_100_4.pdf

(佐世保海事事務所)

健康に気をつけてますか・・・??

(航海中の旅客カーフェリー船内で訪船診療を実施)

9月21日、九州運輸局は、博多～壱岐～対馬を結ぶ定期航路で航海中の旅客フェリー(1,926総トン)の船内において<訪船診療>を実施しました。

この訪船診療は、船員労働安全衛生月間行事の一環として、船員保険健康管理センター等の協力を得て実現したもので、同センターの医師と保健師が博多港から乗船し、同船乗組員に対して血圧測定や問診などの診療や健康相談を実施したものです。

診察では、乗組員が日頃抱えている体調不安などに対する健康相談を行うとともに、食生活や運動不足によるメタボなどの改善に関するアドバイスがありました。また、医師からは「体調に不安があるときは、早め早めの受診を勧めます。船内で急に体調不良になっても、病院までの搬送に時間がかかるため、ちょっとしたことでも重大なケースになる場合がありますよ。」などの忠告もありました。

船員の疾病発生率は長期的に減少していましたが、ここ数年は増加に転じる兆しを見せており、平成20年度の全国の疾病発生状況は、船員1,000人あたり10.9人で、九州では同12.2人となっています。

九州運輸局では、いろいろな機会を通して船員の健康管理の増進に努めていきます。

当日の訪船診療の様子は、以下のURLからご覧になれます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_100.pdf

(海上安全環境部 船員労働環境課)

柳川市(大和町)からボートレーサーが巣立つ

～「やまと競艇学校」第107期生卒業～

一周600mのコース水面を3周、最高時速80km以上で疾走する「BOAT

RACE」をご存じですか？

九州運輸局管内では、モーターボート競走発祥の地である大村市（1952年4月初開催）をはじめ、下関市・北九州市・芦屋町・福岡市・唐津市の6市町に競走場があります。

9月17日（金）福岡県柳川市にある「やまと競艇学校」において第107期選手養成訓練卒業式が行われました。なお、この学校はボートレーサーや審判員、検査員の養成訓練を行う全国唯一の施設です。

この度、めでたく卒業式を迎えたのは、昨年10月に応募者1,195名（うち女性155名）の狭き門をくぐり抜けて入学し、1年間の厳しい訓練を耐え抜いた31名（うち女性4名）です。

卒業生の中には、昨年4月入学の前期生より設けられたスポーツ優秀者等の特別枠で入学したバイクの元全日本ロードレースの選手や2008年世界空手選手権大会の優勝者もいます。

卒業式に先立って卒業記念競走が行われ、引き続き卒業式が行われました。

卒業式では、卒業生の一糸乱れぬ動き、「ありがとうございました」「がんばります」という言葉、笑顔の中に涙もあり、その一つ一つに見ているこちらは、身が引き締まる思い、迫力そして清々しさを感じ、胸が熱くなりました。

今回の第107期生は、今年11月から全国各地でデビューしますが、怪我や事故が無く子供から大人まで多くの人に愛されるレーサーとなり、活躍することが期待されています。

最後になりますが、モーターボート競走の収益金は、みなさんの町の学校建設や道路・公園の整備、消防車の購入等、暮らしの向上に役立てられています。

卒業式の模様は、以下のURLからご覧になれます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_100_3.pdf

（海事振興部 船舶産業課）

3 地域情報ファイル「あの街、この街」

…熊本の秋の風物詩「藤崎八幡宮秋季例大祭」を御存知ですか？

以前の通称である「ぼした祭り」の方が馴染み深い方も多いかと思います。

ここでは、1000年以上の歴史を持ち、熊本を代表するこの祭りについて簡単にご紹介したいと思います。

まずは最初に「藤崎八幡宮」についてですが、承平五年（935）に朱雀天皇が承平の乱の平定を祈願され、京都石清水八幡大神を国家鎮護の神として、茶臼山（今の藤崎台球場）に勧請されたことに始まる熊本を代表する神社です。

鎮座の日、勧請の勅使が藤の鞭を三つに折って、三カ所に埋めたところ、この地に挿した鞭から、やがて芽が出て枝葉が繁茂したので、藤崎宮の名称が起こったと伝えられています。

さて、今年は9月13日から21日の8日間に渡り行われた秋季例大祭ですが、最大の呼び物は何と言っても20日に行われた「神幸式」です。

神幸は朝夕の2回行われ、朝の神幸を「朝随兵」、夕方の神幸を「夕随兵」と呼びます。

朝随兵は午前6時に本宮を出発、午前8時に約5キロ離れた熊本市新町の「お旅所」へ到着し、夕随兵は午後2時半にお旅所を出発、午後4時半に本宮へ到着します。

「随兵」とは御神幸にお供する武者行列の壮観を指したのですが、随兵の起源は肥後国の領主であった加藤清正公が、朝鮮出兵で苦戦した折り、八幡の加護により無事凱旋したので、兵を従えて祭りに参加したのが始まりと伝えられています。

厳かな神輿、甲冑姿の随兵に続くのが、職場や同窓会などの奉納団体（66団体・約1万6000人）です。

「飾り馬」を先頭に「勢子（馬を追う人）」たちが太鼓やラッパを鳴り響かせながら「ドーカイ、ドーカイ」という威勢のいい掛け声を上げ、熊本の街を練り歩きます。

秋季例大祭のシンボルとも言える飾り馬ですが、もともとは神職が乗るための馬

でしたが、江戸時代には本宮とお旅所との距離が近かったため、牽き馬となり現在に至ります。

飾り馬は競馬場で走るサラブレッドよりも大型で、沿道から見てもその姿に圧倒されます。朝随兵の途中、日本銀行熊本支店前（熊本市紺屋今町）で行われる「馬追い」は祭りのハイライトで、「口取り」と呼ばれる勢子が飾り馬を巧みに操り迫力満点に駆けさせます。

そして、21日の午前零時、神様に本殿へお戻りになっていただく神事「宮遷式」をもって、熱い祭りは終わります。そして熊本に本格的な秋が訪れます。

九州新幹線が来年3月12日に全線開通し、熊本はより身近になります。肥後っ子の心意気溢れるこの祭りを是非生で見て頂きたいと思います。皆様のお越しをお待ちしています。

藤崎八幡宮秋季例大祭の様子は、以下のURLからご覧になれます。

http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_100_2.pdf

（熊本運輸支局）

【編集部より】

九州運輸局メールマガジンは、本日号で100回目の配信となりました。編集部では、今後も内容の充実を図っていきます。

なお、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内等、地域の情報を引き続き募集しています。お気軽にお寄せください。

九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail : mm-kyushu@qst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

九州運輸局メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html